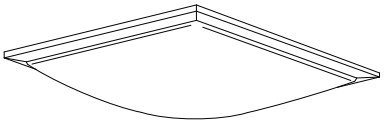
DAIKO
大光電機株式会社

取扱説明書

保管用
施工説明付き



(LED シーリング)

※対象品番は仕様欄を参照ください

お客様へ

このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
本説明書は大切に保管してください。

●安全上のご注意　必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。
（下図は図記号の一例です。）

	実行しなければならない内容です。
	してはいけない内容です。

⚠ 警告

厳守

●**異常を感じた場合、速やかに電源を切る**
火災･感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。

禁止

●**周囲温度－5～35℃以外では使用しない**
火災の原因となります。

禁止

●**器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わない**
火災･感電･落下の原因となります。

●**器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かない**
火災の原因となります。

分解禁止

●**器具の改造、部品の変更は行わない**
火災･感電･落下等の原因となります。

⚠ 注意

厳守

●**照明器具には適正交換時期があります。**
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検･交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日5.5時間点灯、年間2000時間点灯。
周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、適正交換時期が短くなります。

●**1年に1回は「安全チェックシート」により、自主点検をしてください。「安全チェックシート」については弊社ホームページをご覧ください。**

●**3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。**
点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

厳守

●**お手入れの際は電源を切る**
通電状態で行うと感電の原因となります。

禁止

●**LEDを直視しない**
目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

接触禁止

●**点灯中や消灯直後は器具やLEDにさわらない**
やけどの原因となります。

施工説明

工事店様へ　施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

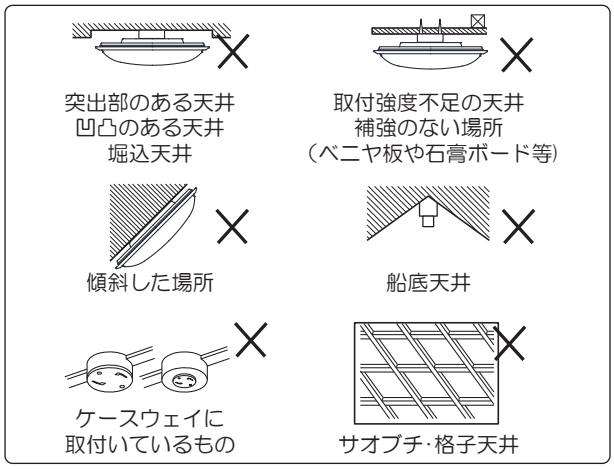
●安全上のご注意　必ずお守りください。

⚠警告

●取付面

厳守

●指定場所以外には取付けない
火災·落下の原因となります。
※この器具は天井取付専用(アダプタ取付式)です。



●取付面の強度を確保する
取付面が強度不足の場合、落下の原因となります。

●付属の木ネジで確実に取付ける
取付部、補強材へのねじ込み寸法が20mm以下の場合、落下の原因となります。
既に使用されたネジ穴の再利用はしないでください。
落下の原因となります。

水ぬれ禁止

●湿気の多い場所や屋外では使用しない
火災·感電の原因となります。
※この器具は非防水です。

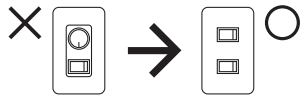
禁止

●ガス機器等の温度の高くなるものの上に取付けない
火災の原因となります。

●壁スイッチ

厳守

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災の原因となります。
※調光器の取外しが必要です。

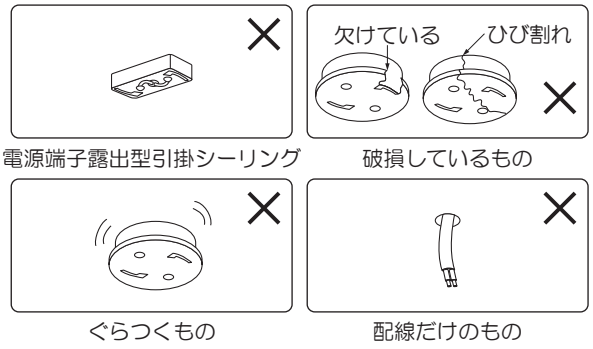


●配線器具

厳守

●配線器具は充分な強度で取付けされていることを必ず確認する
火災·感電·落下の原因となります。

●下記のような配線器具には器具を取付けない
火災·感電·落下の原因となります。
※配線器具の交換が必要です。



電源端子露出型引掛シーリング　破損しているもの
ぐらつくもの　配線だけのもの

●その他

厳守

●取付けは器具本体表示または本説明書に従って確実に行う
取付けに不備があると、火災·感電·落下の原因となります。

●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災·感電の原因となります。

●アダプタは配線器具に確実に取付ける
落下·不点の原因となります。

●コネクタは最後まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災の原因となります。

⚠注意

禁止

●取付面が充分乾燥してから器具を取付ける
乾燥が不充分な場合、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

●取付け前の注意事項について

●取付いている配線器具を確認してください。
●右記以外の配線器具や、配線器具が設置されていない場合は取付けできません。
※配線器具の交換·取付けには資格が必要です。工事店またはお買い上げの販売店に依頼してください。

<使用できるもの(配線器具)>



引掛シーリング(角·丸形)　ツバ付丸形引掛シーリング　引掛埋込ローゼット(耳付き)　ツバ付引掛ローゼット(耳付き)

●傾斜天井(水平から45°まで)に取付ける場合

＜簡易取付金具を取付ける＞

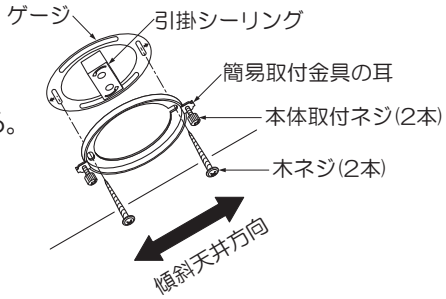
●必ず別売の簡易取付金具(DP-35345)を使用してください。
※引掛埋込ローゼット、ツバ付引掛ローゼットには取付けできません。

●引掛シーリングに、簡易取付金具に付属のゲージを合わせ、天井面に貼り付ける。

●簡易取付金具に付属の本体取付ネジ(2本)を簡易取付金具に仮止めする。
※本体取付ネジは１種類です。詳細は簡易取付金具の「注意書」をご覧ください。

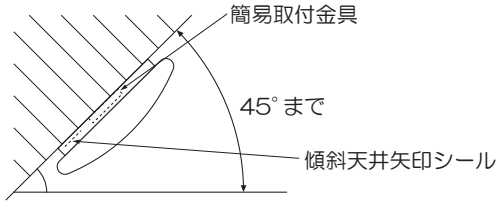
●簡易取付金具の耳を傾斜天井に対して縦方向にし、簡易取付金具をゲージに合わせ、木ネジ(2本)で天井面の補強材のある位置に取付ける。

※以降はこの取扱説明書の手順に従って照明器具を取付けてください。



⚠ 警 告

この器具は簡易取付金具なしでは、傾斜天井への取付けはできません。
傾斜天井(水平から45°まで)への取付けの際は、上記条件を守ってください。
指定以外の取付けは、落下によるけがの原因となります。



●各部のなまえと取付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください。

※下図は、簡略した図です。

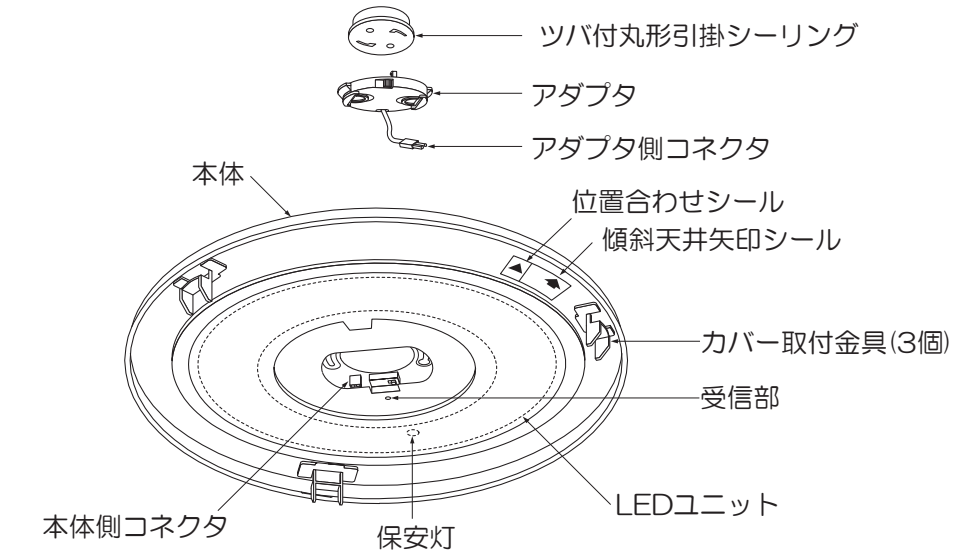
付属部品

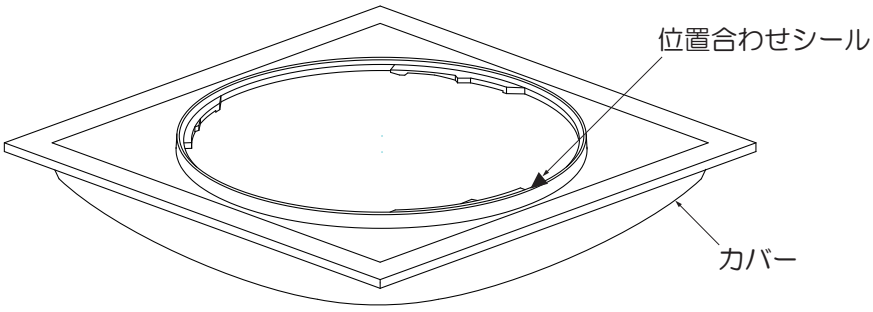
取付けする前にまず付属部品をご確認ください

- □ツバ付丸形引掛シーリング(木ネジ付)
- □アダプタ

＜リモコン一式＞

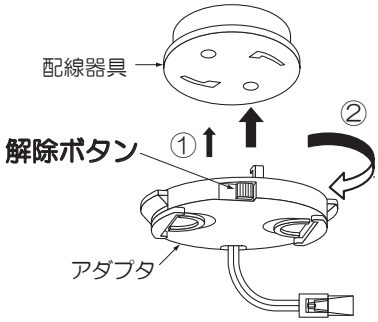
- □リモコン送信機
- □単4乾電池(2本)
- □送信機ホルダー
- □木ネジ(2本)





① アダプタを取付ける

●アダプタを配線器具に差し込み、カチッと音がするまで右に回して取付ける。

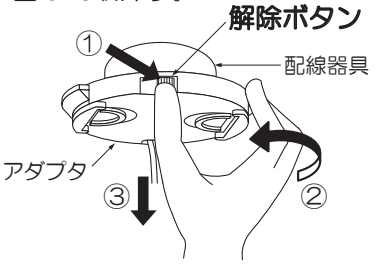


⚠ 警 告

厳守	取付後、解除ボタンを押さずに左右に力を加え、動かないことを確認してください。取付けが不充分な場合、落下･不点の原因となります。

＜アダプタを取外す場合＞

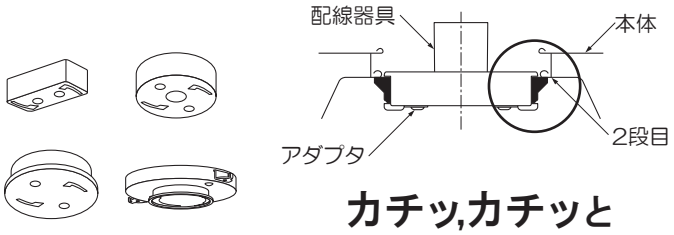
●アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回して取外す。



② 本体を取付ける

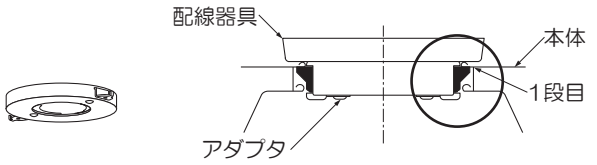
●アダプタに本体のセンター穴を合わせて押し上げる。
※配線器具(高さ)により取付位置が異なります。下記を参考に押し上げてください。
※天井に密着するまで確実に押し上げ固定してください。

＜配線器具(高さ約22㎜)取付け＞
2段目まで押し上げる

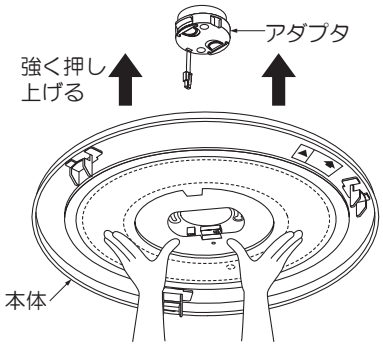


カチッ,カチッと2度、音がするまで押し上げる

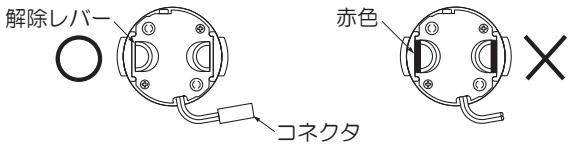
＜配線器具(高さ約11㎜)取付け＞
1段目まで押し上げる



カチッと1度、音がするまで押し上げる



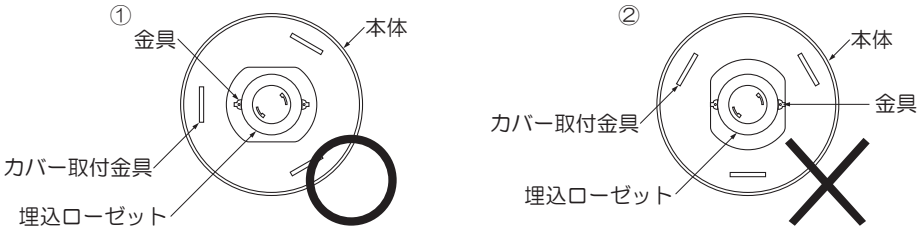
※アダプタの解除レバーの赤色が見えている場合は、本体センター穴付近を再度押し上げてください。



⚠ 警 告	
❗ 厳守	本体がガタガタするまたは簡単に回転する場合、再度本体を押し上げてください。そのまま使用すると落下の原因となります。

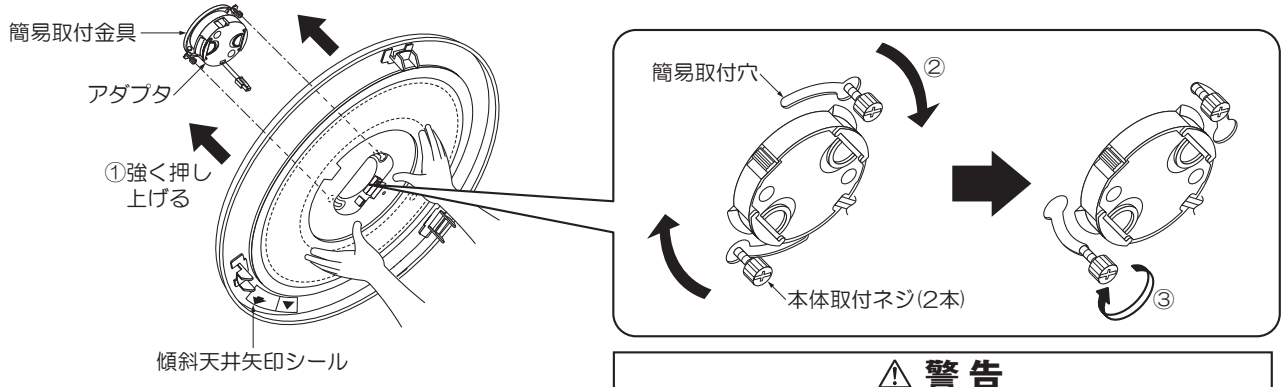
＜埋込ローゼットに取付ける場合＞

●配線器具が埋込ローゼットの場合は、本体に方向性がありますので注意してください。
必ず①の方向で取付けてください。
②の方向で取付けた場合、埋込ローゼットの金具に本体が当たり、傾くおそれがあります。



＜傾斜天井に取付ける場合＞

①傾斜天井矢印シールが傾斜天井の下側になるように、本体の簡易取付穴を簡易取付金具の本体取付ネジ(2本)に合わせてください。天井に密着するまで確実に押し上げてください。
②③本体を回転させた後、本体取付ネジ(2本)を確実に締め付け固定してください。



⚠ 警 告
指定以外の取付けは、火災·落下の原因となります。

＜本体を取外す場合＞

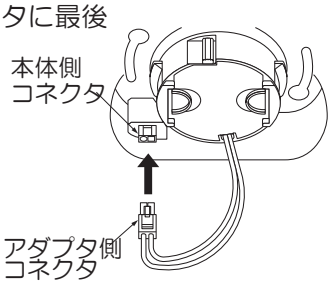
●本体センター穴付近を片手で支えながら、アダプタの解除レバーを中央側につまんで取外す。

⚠ 警 告
本体を支えないで取外すと、本体が落下する原因となります。



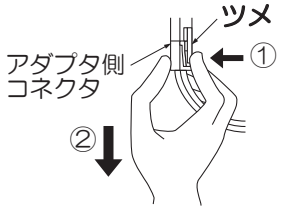
❸ コネクタを接続する

●アダプタ側コネクタを本体側コネクタに最後まで確実に差し込む。



＜コネクタを取外す場合＞

●アダプタ側コネクタのツメを押さえながら引き抜いてください。

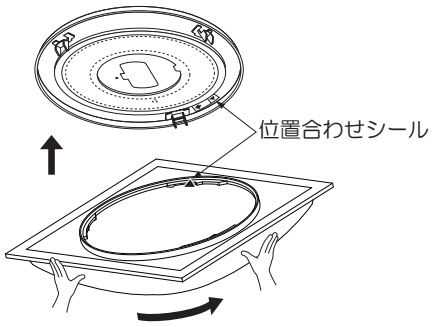


❹ カバーを取付ける

※カバーにひび･割れ･欠け等の異常がないか確認してください。

●本体とカバーの位置合わせシールを合わせてはめ込んでください。
●カバーを音がなるまで右に回してください。
●カバーが確実に取付いていることを確認する。

⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

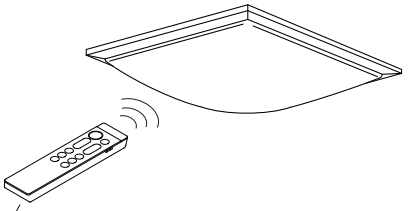


●リモコンのチャンネル設定

●チャンネル設定することで、1つのリモコンで2台の照明器具を操作することができます。
※出荷時はリモコン、照明器具ともに「CH1」に設定しています。
※詳細はリモコンの「取扱説明書」をご覧ください。

●ご使用方法

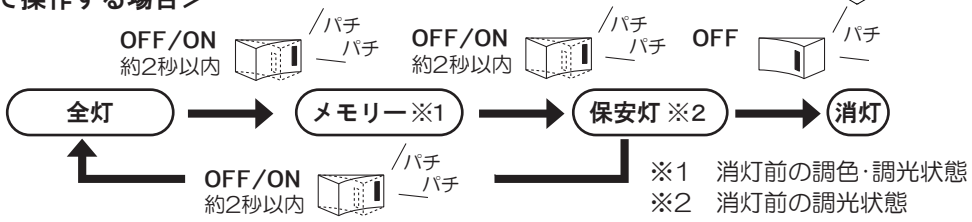
●点灯の切り替えは、同梱のリモコンまたは壁スイッチで操作してください。



＜リモコンで操作する場合＞

●光の色は11段階、明るさは10段階の調節が可能です。
※詳細はリモコンの「取扱説明書」をご覧ください。
※壁スイッチがOFFの場合は、点灯の切り替えはできません。

＜壁スイッチで操作する場合＞

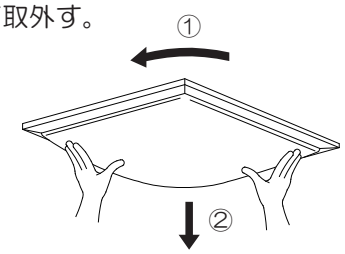


※壁スイッチをOFFにしてから約3秒以上経過した後、再度ONにすると消灯前の状態に戻ります。

●カバーの取外しかた

必ず電源を切り、器具とLEDが冷めてから取外してください。

●カバーを回して取外す。



●カバーの取付けは ❹ の手順に従って行ってください。

●ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません。

〔器具自体の留意点〕

●LEDはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさ、点灯時間(始動時間)が異なる場合があります。
●LEDが点灯しない場合は電源を切り、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取替えはできません。
●調光範囲は約5%～100%ですが、室温によって多少変化します。また調光状態になるまで数秒かかることがあります。
●長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。壁スイッチがONの状態で停電がおこった場合、停電復帰後、自動的に点灯する場合があります。
●天井の材質や構造によっては天井面が変色することがあります。
●点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

〔位置表示灯スイッチ（ほたるスイッチ等）をご使用する場合〕

●位置表示灯スイッチは、１回路につき６個までとしてください。
●７個以上ご使用すると、スイッチをOFFにしても器具が消灯しないことがあります。

〔周囲の影響〕

器具の近くで使用すると以下の現象がまれにあります。

●ラジオやテレビ等の音響･映像機器への雑音。
●リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなる。
●トランシーバやラジコンのコントローラ等の無線機により器具が点滅する。

●点検とお手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください。

●明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。
・LEDが切れていませんか。
・正常に点灯しますか。
・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
・木材、紙、布等の場合は水拭きせずに、柔らかい布またははたきで、こまめにホコリを落としてください。
・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。
●汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
※シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色･破損の原因となります。

●仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

品　番	定格電圧	周波数	最大消費電力（昼白色時）※待機時 1W以下を要します。	入力電流	LED
DCL-42180	交流100V	50/60Hz共用	41.5W	0.43A	昼光色(6500K)～電球色(2700K)
DCL-42181			46.0W	0.47A	

●調色機能により消費電力が変わります。
●LEDの光束維持時間は、40,000時間です。（LEDが点灯しなくなるまでの総点灯時間または、器具光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。LED照明器具の保証期間ではありません。）

●保証について

●この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
●保証書について
保証書が必要な場合は、弊社「CSセンター」までお申し出ください。
●補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品を維持するために必要な部品です。

●商品についてのご相談

CSセンター（0570）003-937（ナビダイヤル 全国共通）へご連絡ください。
受付時間(月～金曜)9：00～17：00　土･日･祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

大光電機株式会社 〒541-0043　大阪市中央区高麗橋3-2-7　高麗橋ビル6F